

JAPIC Pharma Report

海外医薬情報 速報

発信元：一般財団法人日本医薬情報センター
事業部門 医薬文献情報担当
〒150-0002 渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 5F

No. 1319 2022年2月3日発行

「JAPIC Pharma Report 海外医薬情報」速報の発行日に関するお知らせ

次回の発行日は2月9日（水）とさせていただきます。

それに伴い、メール配信等は2月10日（木）となります。

安全性情報

関節リウマチでの Tofacitinib の使用に伴う心血管および癌のリスク：無作為化オープンラベル非劣性 Phase IIIb~IV 試験

Cardiovascular and Cancer Risk with Tofacitinib in Rheumatoid Arthritis

Steven R. Ytterberg (Mayo Clinic, Rochester/USA) , ほか

N. Engl. J. Med. 386 (4) 316-326 / (2022. 1. 27)

台湾の急性冠動脈症候群および透析患者における Ticagrelor と Clopidogrel の有効性と安全性の比較：レトロスペクティブコホート研究

Comparison of effectiveness and safety between ticagrelor and clopidogrel in patients with acute coronary syndrome and on dialysis in Taiwan

Yun-Syuan Li (Kaohsiung Medical University, Kaohsiung/Taiwan) , ほか

Br. J. Clin. Pharmacol. 88 (1) 145-154 / (2022. 1)

授乳中の Levetiracetam：ヒト母乳中への排泄量は？；薬物動態解析

Levetiracetam in lactation: How much is excreted into human breast milk?

Natalie Dinavitsner (Tel-Aviv University, Tel-Aviv/Israel) , ほか

Br. J. Clin. Pharmacol. 88 (1) 199-205 / (2022. 1)

乳児の傾眠の報告は、母乳を介した乳児の levetiracetam 曝露と関連している可能性がある。

Mirtazapine の使用は、大うつ病性障害患者における低サイロキシン血症のリスクを増加しうる：レト

ロスペクティブコホート研究

Mirtazapine use may increase the risk of hypothyroxinaemia in patients affected by major depressive disorder

Ying Zhao (Xinxiang Medical University, Xinxiang/China) , ほか
Br. J. Clin. Pharmacol. 88 (1) 214–225 / (2022. 1)

Health Product InfoWatch (January 2022/9pp)

Monthly Recap of Health Product Safety Information : 2021年12月に医療専門家および消費者に対して行われた勧告や安全性レビューの概要。amoxicillin 含有製品による無菌性髄膜炎などについて記載。

New Health Product Safety Information

Product Monograph Updates ;

・ Biaxin (clarithromycin) : 本製品の Canadian product monograph 中の禁忌, 警告および使用上の注意, 薬物相互作用および患者情報 (Patient Medication Information) のセクションが新たな安全性情報とともに更新された。この安全性情報は電解質障害 (低カリウム血症もしくは低マグネシウム血症) を有する患者の使用および直接作用経口抗凝固薬 (dabigatran, rivaroxaban および apixaban など) との薬物相互作用の可能性を懸念するものであることなどについて記載。

・ Cyklokapron (tranexamic acid) : 本製品の Canadian product monograph 中の禁忌, 警告および使用上の注意, 用法・用量および患者情報のセクションが不正確な投与経路による過誤のリスクとともに更新された。警告および使用上の注意, 用法・用量および患者情報のセクションが, ホルモン性避妊薬と併用した際に血栓塞栓症のリスクが増加すると更新されたことなどについて記載。

編集部注：詳細情報は文献複写サービスをご利用になるか、医薬品情報データベースの iyakuSearch, PharmaCross などをご覧ください。尚、より速く情報をお伝えするため、一部電子ジャーナルを利用して採択を行っております。文献複写サービスは雑誌入手後となりますのでご了承ください。文献複写申込みは JAPIC 附属図書館／文献複写サービスよりお申込みください。
(<http://www.japic.or.jp/service/library/guidance.html>)